

自民県政クラブ

自民県政クラブ会長

染谷 清

クラブ七人の四年間の活動を振り返って

本年も残り幾ばくも無く、年の瀬に向けて県民の皆様には何かと忙しい毎日と拝察致します。四年前、私達六名は長年同志として共に活動した県議会自民党会派より離党決別し、新旧同志七つの星が結集し自民県政クラブを結成、心を一つに新しい道を歩み活動して参りました。

が出来、県議会議員としての、新しい活動のあり方を発見した四年間でした。勿論、自民党会派所属中は県議会で絶対多数を誇るキャリアのある会派ですから素晴らしい所は沢山ありましたが古い体制体質と思われ所も経験しました。さて、自民県政クラブの過去を振り返れば日の浅い会派ですが、皆が元々自民党員ですから、心は橋本県政を支える与党であり茨城県民党であります。自民県政クラブの活動は合議の上、是々非々の心で予算決算などについても厳しく対処し、

公明党

公明党 茨城県議会議員団团长

足立 寛作

将来にわたって元氣な茨城を

師走を迎え、皆様には、ご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。最初に、この度の県議選で四人全員の当選を果たし、二十年前に念願の代表質問権を獲得することができました。県民の皆様からの応援に心からの感謝を申し上げます。

情報通信基盤の構築を実現するなど産業大県づくりを推進しました。また、小学校入学までの乳幼児医療費無料化、霞ヶ浦環境科学センターの整備など福祉医療環境の一層の充実にも取り組まれました。また、かねてからの懸案であった土地開発公社、住宅供給公社などの県出資団体の改革も進めてまいりました。さて、社会の大きな転換期にあつて、県政に求められている課題は、改革の着実な推進と合わせ、将来にわたって県民の安心を確保するための道筋を明らかにすることです。私たちはこのほど、平成十九年度の予算編成にあたり、生活者の視点に立って

民主清新クラブ

民主清新クラブ代表

長谷川修平

大胆な発想からの新たな社会システムの構築を

年末を迎えお忙しいことと存じます。この一年多くのご支援をいただき、ありがとうございます。さて、今任期の四年間は、本県にとって、少子化の進展による人口減少社会の到来や急速な高齢化の進展、地方分権・市町村合併の進展、東京一極集中による地方の衰退、さらには厳しい財政状況など、かつて経験

インフラの整備や、東海村に建設中の大強度陽子加速器を活用した新たな産業の創出に向けた取り組みが着実に進み、国内外から注目を集めてきております。また、今年度、県は新たな県総合計画を策定するとともに、行財政改革大綱を策定したところであります。このような状況のもと、私たちは、本県の活力維持と安心・安全、人材の育成をめざし、新しい豊かさを感ずることが出来る強い茨城づくりに取り組むこととし、毎年、県政要望書を提出し、施策へ反映させていくところでありたい。今後、地域間競争はさらに激化し、また、厳しい財政状況が続くことが予想さ

日本共産党

日本共産党 茨城県議会議員団团长

大内久美子

県民の運動と力を合わせて

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。「くらしを守ってほしい」という願いに反し、弱いものいじめの政治がつづいています。市・県民税の増税とそれに連動する国保税、介護保険料の値上げにたいし、市町村窓口に関わり合いをもち、暮らしを良くしたい。子育てのお母さんたちの運動と力をあわせ、子ども医療費助成を就学前まで拡大することができました。

自己負担も所得制限もない完全無料化にはあと十二億七千万円で実現できます。ひきつづき拡充を求めていきます。小学一、二年生の三十五人学級に踏み出しましたが、対象校が限定され不十分なものです。計画的に全学年への拡充を求めていきます。教室不足など養護学校の改善はまったなしです。毎年、請願が取り組まれ、教室の増築や冷房設備など年々前進しています。つくば養護学校は来年四月に開校します。高い水道料金の大きさにある過大な水開発の見直しの検討も始まっています。県民の運動が県政を動かしていることを強く実感した四年間でした。日本共産党は十一月一日、知事にたいし来年度予算にたいする重点要望書を提出しました。増税から県民の暮らしを守る緊急対策、介護保険や障害者自立支援法による負担軽減策、遅れている学校の耐震化などを早急におこなうべきです。大型開発は破たんしています。常陸那珂港や百里の共用化、霞ヶ浦導水事業など、税金のムダ遣いを改めれば、暮らし、福祉の県民の願いは十分実現できます。希望もてる茨城県政に向け引き続きとりくんでまいります。